

回覧

茂原市文化協会会報



東部台文化会館



本納公民館



総合市民センター



鶴枝公民館



茂原市立美術館・郷土資料館



中央公民館

茂原市制施行70周年記念
第71回茂原市文化祭
2022.10.9～2022.11.29



会長あいさつ

「四年ぶりの文化祭」

茂原市文化協会会長 細谷 菜穂子



新しい春を迎えお慶び申し上げます。世界情勢が安定しない中、ふと草木の芽吹きを目にすると季節の移

り変わりを感じ心が安らぐことを覚えます。

さて、長引くコロナ禍ですが、社会活動の制限が緩和され、昨年十一月には、四年ぶりに文化祭を実施することができました。各団体は予防対策を考え、どうしたら安全でいい形に発表ができるかということを念頭に実施しました。コロナで準備が計画通りにいかず発表作品が少なかったなど、いろいろとありましたが、四年ぶりに実施できて良かったという声はたくさんいただきました。文化活動は人に見ていただくことによって進歩し、喜びを得、物を伝えることができます。次年度は、より充実した形で実施できることを目標にしております。

結びに、この会報も第10号の発行となりました。協会26団体の活動を通して、地域の文化力向上に更に努めてまいります。関係各位皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



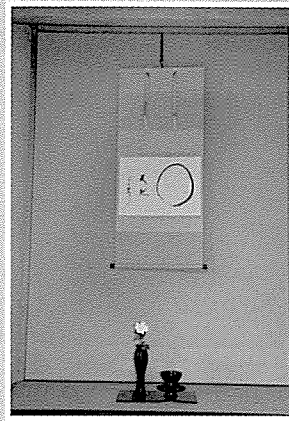
茂原市茶道協会

茂原市茶道協会も過去二年間、総会、季節茶会、講習会など活動は、コロナ感染症拡大防止の為、中止して参りましたが、漸く令和五年度からは明るい見通しになり、ほっとしているところですが。

私たちが生活していく上で毎日かせないお茶は、古く奈良時代中国から伝わったと言われています。そのお茶の栽培から効能までも伝えたいのは、明庵栄西(鎌倉時代)で「喫茶養生記」を書いたことで知られています。

喫茶文化は、時の為政者によって、様々な歴史を重ねてきましたが、「茶の湯」として、現在あるかたちに確立したのは千利休です。

長い年月の間には、戦争や疫病などにより衰退を余儀なくされることもありましたが「茶の湯」文化を次世代へ渡さねばなりません。



先人を偲んでお茶と花を供える

茂原写友会

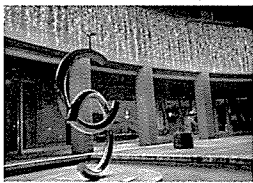
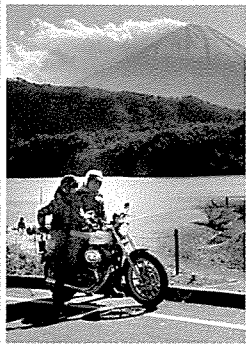
写友会は昭和40年代に創会した写真を楽しむ仲間の集いです。

茂原市の行事にも参加しています。月一の情報交換・互選を行い、他は一人一人の撮影・発表を自由に時には会も協力しながら行っています。

個性豊かな会員ですが、近年は高齢化しています。

スマホできれいな写真が手軽に撮れる時代です。私達も一枚一枚に思いを込めシャッターを切り、その中から展示に至る作品にしていく作業を楽しんでいます。

例会は毎月第一土曜日午後2時からです。参加希望の方は例会(総合市民センター)をご見学されてはいかがでしょう。詳しくは市生涯学習課に問合せください。



茂原市盆栽連合会

今年度開催されました文化祭において、11月1日(火)~11月3日(木)の3日間総合市民センターにて、盆栽展を開催いたしました。計23点の展示を行い、多くの方に作品を見ていただくことが出来ました。



日本郵趣協会 茂原支部

郵便切手として発行され、切手を通じ世界中に通信が出来、世界中の人々に愛され国際的な趣味として収集されているのが郵便切手です。

その切手収集等を通じ郵便の歴史、文化など調査や研究など目的とした愛好家グループで、全国組織である公益財団法人日本郵趣協会の茂原支部です。1983年(昭和58年)5月に愛好者15名で発足39年が経過し、今年には40周年記念誌を発行する予定です。

支部の活動は、毎月第二土曜日の午後から総合市民センターで例会を開催、また毎月発行する支部の会報「もばら」は480号(令和4年10月現在)を休刊もなく連続して発行しております。

そして春と秋には長生郡市内郵便局の約20局のロビーにおいて「切手趣味週間ミニ切手展」としての展示、また秋の茂原市文化祭には昭和58年から「文化祭趣味の切手展」として開催しており市内外からも楽しみに参加者が来場し好評を頂いております。

今後は会員の高齢化、会員獲得等の問題も抱えておりますが、皆様方からのご支援・ご協力を頂きながら支部としての活動を推進して参ります。



本納文化財顕彰会

昭和32年4月7日に36名で発足した本会は、令和4年現在43名の個人会員と1団体会員(橘樹神社)で活動しております。会員の高齢化に加えて、令和2年以降のコロナ禍の影響により、活動が若干停滞気味になっておりましたが、本年度は4年ぶりに第71回茂原市文化祭に参加することができました。「郷土の近代教育と公立小中学校のあゆみ」というテーマで11月1日～3日まで「ほのおか館」で開催しました。幕末から明治前期にかけて茂原市柴名に開設されていた「三畏塾」、明治26年～昭和12年まで茂原市吉井上に設置されていた「東洋学校」、そして、小中一貫教育が推進されている本納管内の4小中学校の歴史を取り上げました。

今後とも地域の歴史・文化を守り、育む活動を続けて参りたいと考えています。



音楽文化塾「赤い鳥」

平成17年に新村道子氏が、日本文化の唱歌・童謡を次世代に残したいという強い思いで「赤い鳥」を発足させました。また、児童養護施設の生徒さんをレッスンに招き、学びを共にするという目的も持って創設されました。

令和4年3月25日には、東部台文化会館のホールで「東日本大震災、あれから11年」のテーマの基、啄木や賢治の詩・奥州鉄道唱歌等、東北に思いを寄せ、ジョイントコンサートに出演しました。

今年度から、新村道子氏を顧問、神明正子氏を講師とし、季節の唱歌・童謡、千葉県鉄道唱歌などを学んでいます。原則として第1・第3日曜日午前中に市民センターで、小学2年生から90代の方々がみんなで楽しく活動しています。



茂原囲碁クラブ

茂原囲碁クラブは、千葉銀行茂原支店の近く寺田ビル1Fで営業していましたが、コロナの影響でお客様が減少の一途でやむなく倉庫の裏の一室を借りて営業しています(休みなし)。

日曜日は9時、平日は12時半より営業しています。毎週日曜日は進級囲碁会、5月頃にはアマ名人戦地区予選、11月3日は文化祭の大会です。

茂原の囲碁クラブは歴史が古く、昭和三十年頃開設されたようで、場所・名称等が変わったりして、現在に至っています。



私が四代目になります。

後継者の育成、また囲碁はボケ防止に最適といえます。老若男女囲碁を覚える気はありませんか。お待ちしております。

田辺 TEL 0475-20-4115

茂原市ハーモニカ協会

◆知ってるようで知らない?

ハーモニカのあれこれ◆

ハーモニカは19世紀にドイツでオルガンの調律用として発明され、明治24年に日本に輸入、改良した国産第一号は、明治43年に完成しました。一般的にハーモニカと言えば複音ハーモニカを言い21穴が主流です。発音体であるリードが二枚ついていて、僅かにピッチ(音の高さ)に差があり、息の吹き吸いによりリードが震えて音が鳴り美しいトレモロとなって響き、独特の美しい音色は郷愁を誘います。

ハーモニカの最大の特徴は、息の吹き吸いで音を出す他の楽器には無い唯一の楽器です。

複音ハーモニカの独奏にはどんな奏法があるのか紹介します。

「ベース奏法」メロディーを吹きながら舌でリズムを刻む。

「バイオリン奏法」二穴の片方の穴を使用しバイオリンのような音を出しメロディーを吹く。

「マンドリン奏法」舌を上下又は左右に動かしてマンドリンのような音を出しメロディーを吹く。

「分散和音奏法」右側でメロディーを吹き左側でピアノの左手の様な伴奏を入れて音を出す。等々一度手にして楽しんでみては!

長生フィルム会

長生フィルム会は2005年に6人のフィルム愛好家が発起人となり立ち上げた写真クラブです。当時は既にデジタル画像全盛であり、数少ない同志で活動していましたが、徐々に賛同者は増え、現在は茂原市内外から35名の写真家が集まり、銀塩文化の継承を目指し活動しております。

活動の成果は定期的に発表しております。今年度は2月16日から3月5日まで茂原市立美術館にて写真展を開催いたします。

第一展示室は従来の写真展。市民ギャラリーは茂原市制70周年を記して茂原をテーマにした作品70点を展示する予定です。高校生から米寿のベテランまで、幅広い年齢層の作品は、視点や被写体も異なり、個性的な写真展となっております。全ておられます。全てフィルム作品です。ご覧いただけただけなら幸いです。



市制七十周年記念事業 「文芸もばら」

三十号記念矢部画伯表紙画展 茂原市文芸協会

茂原市文芸協会の総合文芸誌の表紙画を創刊号から今回の三十号まで日本画家、矢部画伯に毎回描いて頂いています。七十周年の記念事業として「美術收藏品 林功展」が開催されておりましたが、同時開催で、「文芸もばら創刊三十号記念 矢部 宏画伯の表紙画展」を開催しました。毎年秋に発行の「文芸もばら」の絵のモチーフは「秋」に限定されます。三十年間「秋」をテーマに描いて頂きました。その中で、表紙画ではありませんが、絵として独立した精細を放っている十五点を美術館に飾りました。それと同時に創刊号から二十九号までの「文芸もばら」を身近に見て頂くように平置きしました。

矢部画伯展に足を運んで頂いた方で、ご芳名を記載された方は、百七十九名数えました。

「文芸もばら」は市立図書館を始めとして、市内公共施設、長生郡内の公民館等にお配りしています。三十号は、これまでの発行の歴史を振り返り、創刊号からの各号の概要を述べています。多くの先輩諸氏が、創作の意欲に燃えて執筆した、熱い思い



美術館・郷土資料館の展示

が伝わってきます。市内や近郊の企業や医療関係の方々から賛助広告を募り、それに、個人の投稿料、頒布代金とを合わせて発行資金にしております。文芸協会の会員だけでなく、広く市民のみなさまに読まれる文芸誌を目指して、精進してまいります。

事務局からのお知らせ

◆理事会

令和4年4月28日(木)

■議題

- ・評議員会の開催について
- ・評議員会提出議案について
- ・入会及び脱退について
- ・文化協会会報第10号の作成について

◆評議員会

書面決議

■議題

- ・令和3年度事業報告について
- ・令和3年度決算報告及び監査報告について
- ・令和4年度事業計画案について
- ・令和4年度予算案について
- ・原案どおり承認されました

茂原市文化協会加盟団体

団体名	団体名
茂原市音楽協会	日本郵趣協会茂原支部
茂原市美術協会	茂原写友会
茂原市書道協会	茂原市盆栽連合会
日本将棋連盟茂原支部	本納文化財顕彰会
茂原交響楽団	茂原市八一モニカ協会
茂原陶磁研究会	音楽文化塾「赤い鳥」
茂原市文芸協会	茂原囲碁クラブ
茂原刀剣研究会	茂原混声合唱団「四季」
茂原市洋舞協会	茂原軽音楽協会
茂原市三曲協会	茂原市伝統郷土料理協会
茂原市吟詠協会	茂原舞踊協会
茂原市華道協会	茂原シニアアンサンブル昂
茂原市茶道協会	長生フィルム会

編集後記

新型コロナウイルス感染症等で中止としていた茂原市文化祭を、四年ぶりに開催し、参加者の生き生きとした表情や、芸術文化を楽しむお客様の様子を見る事が出来ました。今後も芸術文化の振興につきますので、皆様のご協力を頂ければと思いますので、よろしくお願いたします。(I)

茂原市文化協会会報(第十号)

編集・発行 茂原市文化協会

発行日 令和5年2月1日

代表者 細谷 菜穂子

事務局

〒二九七八五一 茂原市道表一

茂原市教育委員会生涯学習課内

〒二九七八五一 茂原市道表一

TEL 〇四七五(二〇)一五五九

Fax 〇四七五(二〇)一六〇七

字 細谷 菜穂子